

令和4年度 箱根町町政モニター第4回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

動画版広報はこねについて

○ 調査理由

箱根町では2020年5月に公式YouTubeチャンネルを開設し公開しています。活用方法の一つとして、動画版広報はこねの配信を検討しています。今後の動画作成の参考とするため、皆様のご意見をいただきたいと考えていますので、下記の動画をご覧のうえ、アンケート調査にご協力をお願いします。

○ 回答期間

令和5年3月6日(月)から3月15日(水)まで

○ 対象者

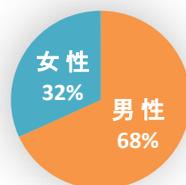
箱根町町政モニター 70人

○ 回答者数(回答率)

22人(31.4%)

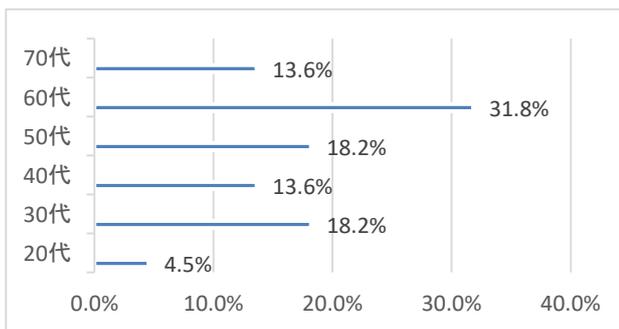
○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	15	68%
女性	7	32%
合計	22	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢	回答者数	割合
20代	1	4.5%
30代	4	18.2%
40代	3	13.6%
50代	4	18.2%
60代	7	31.8%
70代	3	13.6%
合計	22	100.0%



## ○ 動画版広報はこねの視聴について（質問[1]～[2]）

動画内の情報量は、「ちょうど良い（47.6%）」で最も多く、次いで、「少ない（42.9%）」、「多い（9.5%）」となりました。ちょうど良いと回答した方は、動画内の情報量が適切であり、トピックに関する重要な情報が網羅されていたかに満足している可能性があることが回答から分かりました。少ないと感じた方は、より詳細な情報や補足が必要なことが分かりました。

動画の長さとしては、回答者のうち約6割が「ちょうど良い」となりました。一方、約22.7%の回答者が動画の長さを「長い」と感じています。動画の長さは人によって好み異なるため、視聴者の意見を参考にしつつ、多くの人にとって適切な長さを見極める必要があると感じています。今回の動画は調査結果から判断すると、多くの方が動画の長さに満足している割合となりました。

## ○ 動画に求められる情報と伝えたいほうが良い内容と工夫について（質問[3]～[7]）

動画の字幕については、「必要だと思う（50%）」、「あった方がよい（40.9%）」と字幕の存在が一般的には重要視されていることが分かりました。

読み上げ音声については、「必要だと思う（54.5%）」、「あった方がよい（22.7%）」と字幕の必要性と同様に一定の需要があることが結果から読み取ることができました。記事の紹介において、伝えるべき内容についての回答結果として最も多くの票を獲得したのは、「記事の概要（11票）」であり、それに続いて「受付・申込期間（9票）」や「記事の対象となる方（8票）」が挙げられています。また、「記事の問い合わせ先（5票）」も一定の支持を受けていることが結果から読み取ることができます。記事の紹介では、記事の概要や対象となる方、問い合わせ先などの基本的な情報を明確に伝えることを求められていることが分かりました。ただし、記事の性質や目的に応じて、受付期間やメリットなど、追加の情報を適宜盛り込むことも考慮すべきであることが分かる結果となりました。

動画版広報はこねを多くの方に楽しんでもらうには、視聴しやすくするための工夫が多く挙げられました。皆さんからいただいたご意見を参考とさせていただきます。

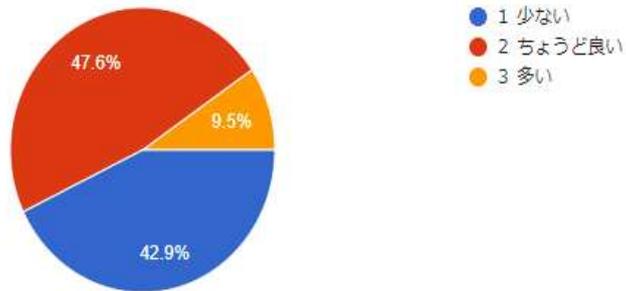
## ○ 総論

本アンケート調査では、字幕や読み上げ音声など視聴者の方がより動画を視聴しやすくなるご意見を多くいただきました。回答いただいた調査結果を基に、今後の箱根町公式YouTube運用の参考にさせていただきます。

### 3 アンケート集計結果

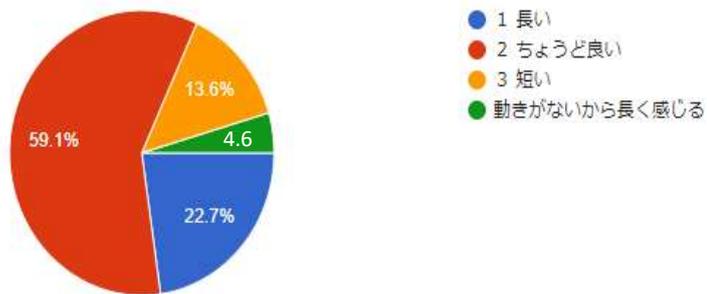
#### 【1】動画内の情報量は適切でしたか

21 件の回答



#### 【2】動画の長さは適切でしたか

22 件の回答



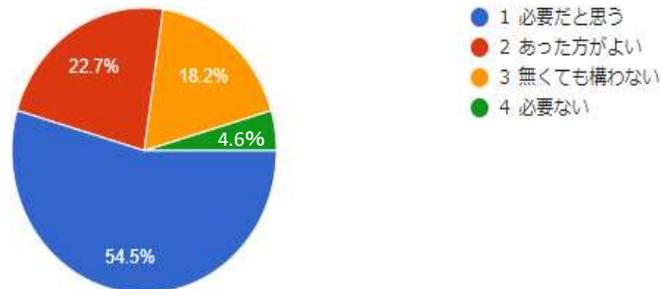
#### 【3】字幕は必要だと思いますか

22 件の回答



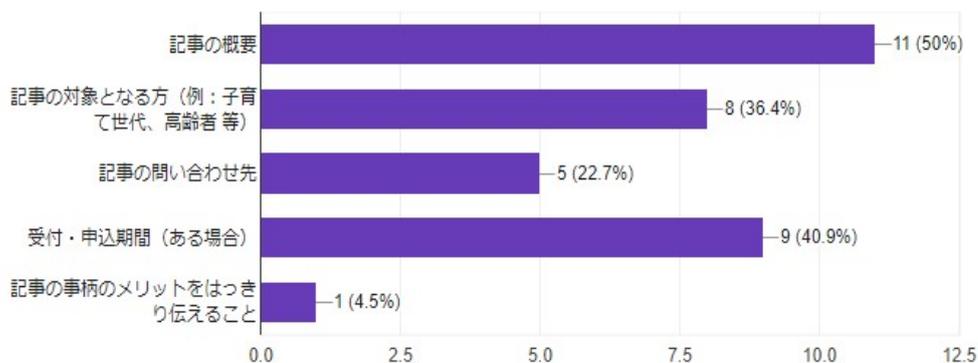
#### 【4】読み上げ音声は必要だと思いますか

22件の回答



#### 【5】記事の紹介をするうえで、伝えた方がよいと思う内容はなんですか

22件の回答



#### 【6】動画版広報はこねを多くの方に楽しんでもらうには、どんな工夫が必要だと思いますか (自由記入)

例：全体をまんべんなく紹介する、一つの記事をクローズアップし掘り下げた内容にする 等

15件の回答

広報は、概要（全般）のバージョンと、個別のクローズアップ内容の両方があったほうが良いと思います。ただしコスト次第ですが・・・

箱根町のために尽力されているスタッフの方々へ敬意を表します。

別件ですが、最初のこの広報の風景：「芦ノ湖+富士山+箱根神社鳥居」の画面は、角度から、別荘地私道（成川美術館裏周辺の私道）から撮影されたと思われます。

この写真撮影場所近辺に住まいしているものですが、写真撮影目的や観光目的、観光タクシーで狭い別荘地の私道や駐車場に不法侵入される方が非常に多いので、大変迷惑しています。

この写真を掲載されるのは、役所の写真として好ましくない、と思います。

もし用いるのなら、公道や芦ノ湖畔からなど公的なスペースからの写真を用いるべきではないでしょうか。

毎月、町のイベントがあるますから、それを中心に紹介した方が、関心が沸きます。

そして、大切だと思うのですが、画面に動きが欲しいです。アバターが話す動作をするとか、昨年のイベントの動画を流すとか、グラフや絵を入れたりして、画像を見る楽しみを盛り込んで欲しいです。

YouTubeを見れる人は概要欄から気になった記事の詳細を見に行くと思うのでコンテンツ的には目次みたいに注目記事だけ紹介すればよいかもしれません。ただ、動画中で広報はこねのページを掲載するよりは、タイトルだけ紹介して背景は箱根ウォークであれば過去のイベント時の写真、国際交流も過去の交流時の写真、動画などが掲載されるともっと興味が湧くかもしれません。せっかくの動画用の案内ですので、その辺をうまく活用していただきたいです。

どこかの、観光動画で見たことあるような、コンテンツでした。

みんなが、知っている情報のみで、ナビゲーターや、顔出ししながら紹介する、例えば、観光課のスタッフ、または箱根を愛してやまない方に、紹介してもらおう。町長さんではない方。トークがうまい方、よく地方では住みます芸人を住まわせて紹介する地域情報番組がありますが、箱根町には住みます芸人さんは、いらっしゃいますか？

あと、全く関係ないので、ポーラ美術館の取り組みで、町に住んでいる方に無料で観覧できるサービスをしています。外の美術館も、そのような取り組みなどを、積極的にやられてはいかがですか？町で旗振り役をするような？。活気を感じる取り組みを、期待します。

実際の広報はこねをHP上で見られるので、そこのリンクが簡単にできるような仕組み。

全体をまんべんなく紹介し、チャプター機能を設けて、必要な情報だけ素早く得られるようにしてほしい。ポカロやアニメは若者になじみやすく良いと思います。

広報誌には、町内の○○さんが絵画の賞をとった記事などあるので、そういう紹介をすると受賞した本人はうれしいし話題性がでるのかなと思います。（個人情報の兼ね合いがあると思いますが）

アニメっぽい女の子（男か）は画面に要らないと思います。

使うのなら、強羅のキャラクターとか箱根のキャラクターが良いです。

全体をまんべんなく紹介するよりも、今回のようにいくつかをピックアップする内容が良いと思いました。

- ・ 駅、駅隣接のバス停などで、モニターで流す。
- ・ 役場、町の施設で流す。
- ・ 流す場所によって、ジャンルを分ける。
- ・ アニメ風にする。
- ・ 流れる4コマ漫画。

動画広報はこねを見る案内回覧板にチラシ入れる。

#### 幅広い話題

動画を拝見させていただいて、アニメキャラと合成音声のカワイイ声は想定外で、とても良いと思いました。前のアンケートで動画制作は大変だとお伝えしましたが、このくらいの軽い内容であれば担当者さんも続けられるでしょう。

箱根町というブランドから、有名キャラと声優を使いたいところですが、予算がかかりますね。敢えてここは大上段に構えずにコストをかけない方法でさらっとこのような内容で制作することもアリかと。ただ、どうせやるなら、話題性などのフックを鑑みて、キャラクターだけは決めたほうが良いと思いました。ウマ娘的な美人キャラで、きらり姉さん3人ユニットとか。うまくハマるとメディアでも紹介されると思います。

短い時間の動画も必要かと思いました。今ショート動画が増えている中、動画の長さが弱みにもなると思いました。短いバージョンをフックにして、通常バージョンを見せるような仕組み作りを期待したいです。

もう少し落ち着いた動画・音声にすると良いと思います。

全体の紹介と特集で1部をクローズアップする。（特集記事）今回動画拝見しましたが、読み上げスピードが遅すぎると思います。少し見づらかったです。あと声のトーンやイントネーションも少し聞づらかったです。すーと流れるように見れた方が頭に残りやすいと思います。キャラクターを使用するのは大変いいと思います。でもせっかく使うなら冒頭で紹介するようにして、キャラクターを定着されるようにした方がいいと思います。誰？って感じになりましたので、ww応援してますので頑張って下さい。